

武蔵野赤十字病院 患者サロンだより

みんなで語ろう会

ニュースレターNO.55 2017年5月発行

2017年4月19日に第61回“みんなで語ろう会”を開催しました。うっすらと汗ばむほど暖かく初夏を感じる晴れやかな一日、体験者12名(男性2名、女性10名)の方にご参加いただきました。今回は女性の参加者が多かったこともあり、治療中の家事の事や、ご主人との関係など、女性ならではの会話が沢山語られました。お話の一部をご紹介します。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ・自分のことは自分の言葉で話す事
- ・他の方のお話は評価しないで聞く事
- ・サロンでのお話は守秘義務を守る事

以上三点です。自己紹介後、自然に話題にのぼったテーマで、自分なりの思いを語り合いました。

○今まで強く生きてきて、人前では泣かなかったけれど、がんになって大泣きをした。がんというのは大変な病気なのだから、大泣きしてもいいなと今は思えるようになった。

○抗がん剤の休薬期間は、友達に連絡して会いまくり、おしゃべりして気分転換した。そうやって次回の抗がん剤治療に備えた。

○つらいときは、お笑い番組を観て、笑って気持ちを紛らわせた。

○ある歌謡曲がラジオから流れてきたとき、眠っていた感情が揺り起こされ涙が出てきた。

○ひとりしていると「何で私が？」と自分を責めてみたり卑屈になったりしていた。サロンに参加すると「一人じゃない、仲間がいる」と気持ちが変わる。

○「時間は薬なのだな」と思う。

○初発のがん治療が終わって、まわりから「治ったんだね」と言われるとつらくなる。

○がんの治療がつらくなったり、不安で夜眠れないと、夫がマッサージをしてくれた。ありがたかった。

○家族に家事を手伝ってと言えなかった時、友達から「何か手伝おうか？」と言われた時はうれしかった。

○初めてサロンに参加した。話を聞いてもらって涙がポロポロ流れた。少し気持ちが楽になった。

ごく一部ですがご紹介させていただきました次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

今後の予定

- 日時: **毎月・第3水曜日** 13時～15時
2017年6月21日(水)
7月19日(水)
- 場所: 武蔵野赤十字病院 多目的室
5番館 3F 情報ラウンジ横
- 対象: 主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっていても参加できます。
(申込みは不要です。参加費は無料です。)



主催: 特定非営利活動法人がん患者団体支援機構

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5丁目28-7

E-mail: info@canps.jp <http://www.canps.jp>

Tel: 03-5787-6411

共催: 武蔵野赤十字病院